

む T さ A し L の K

## 吉祥寺は『俺たちの旅』という 素晴らしい作品と出会った特別な場所です

中村雅俊さん 俳優、歌手

吉祥寺を舞台にしたドラマ『俺たちの旅』が放送されて今年で50年です。当時、大学生を主人公にしたドラマは当たらないといわれていたところ、岡田晋吉プロデューサー（『太陽にほえろ！』なども担当）の英断でスタート。半年の放映予定が、徐々に人気が高まって1年に延びたんです。井の頭恩賜公園で撮影をしているとだんだん見物客が増えてきて、人気を実感していました。タイトルバックで登場人物3人が肩車しているのはサンロード商店街。吉祥寺を舞台に選んだのは脚本の鎌田敏夫さんだったと思います。

俺が演じた主人公のカーズケは、世の中の常識から外れた男で、「今日一日が楽しければそれでいい」みたいな考え方だからしよっちゆう人とぶつかるんだけど、自由で不器用なところが愛されたのかな。50年たってもいまだに役名で呼ばれることってほかに無いですから（笑）。

当時は撮影後によく吉祥寺で飲んでましたね。もう無くなっちゃった「コンパス」とか、今でもあるジャズバーの「SOMETIME」とか。あとこの前撮影でハーモニカ横丁を歩いていたら、「ささの葉」のご主人が昔俺と一緒に撮った写真を見せてくれました。秋野太作さん演じるグズ六と初めて会うのがこの店だったんです。

ドラマのメイン演出を務めた斎藤光正監督が2012年に亡くなって、もう続編は難しいかなと思っていたところ、今回、来年1月全国公開の映画『五十年目の俺たちの旅』を俺が監督することに。この作品が一贯して描いてきた「生きることのせつなさ」を本作でも受け継いでいます。もちろん吉祥寺も登場しますよ。吉祥寺は『俺たちの旅』という素晴らしい作品と出会った特別な場所。第二の故郷であり、青春の時間が刻まれたまちなんです。

中村雅俊（なかむら・まさとし）

俳優、歌手。1951年生まれ、宮城県女川市出身。1973年、慶應義塾大学在学中、文学座付属演劇研究所に入所。1974年、ドラマ『われら青春!』の主役に抜てきされデビュー。挿入歌「ふれあい」が100万枚超えの大ヒット。以来、俳優業と歌手活動を精力的に続けている。2025年9月、放送50周年を記念した『俺たちの旅スペシャルコンサート』に出演、9月27日に武蔵野市民文化会館で公演を行う（チケットは完売）。2026年1月、大阪・東京で追加公演を予定。



photo by Daisuke Yamada